

276  
231



始



42K33

小學體操器械器具設備標準

廣東縣教育會

276-231

### 小學校體操器械器具設備獎勵ノ要旨

國力ヲ充實シ、國威ヲ發揚スルノ基礎ハ、國民ノ身體ヲ強健ナラシムルニアリ。身體ニシテ強健ナランカ、精神モ亦從テ健全ナルヲ以テナリ。歐州ノ大戰亂ハ、交戰國民ヲシテ、倍々強健ナル身體ト、旺盛ナル志氣ノ必要ヲ認メシメタリ。然ルニ纏ツテ我國民ノ體力ト健康トヲ見ルニ、甚憂慮ニ堪エザルモノアリ。茲ニ於テ體育ノ獎勵ハ、學校教育ト社會教育トヲ問ハズ、現下最緊切ナル大事業ナリト信ズ。

國民體育ノ基礎ハ學校體操ニ在リ。之ガ効果ヲ遺憾ナク收メントスレバ、大正二年一月二十八日 文部省訓令第一號體操科教授要目ニ準據シ、之ヲ確實ニ實施スルガ爲メニ要スル、器械器具ノ設備ヲ完全ニセザルベカラズ。是レ本委員會ガ茲ニ先小學校體操器械器具ノ設備ニ關スル調査ヲ爲シ當事者ノ參考ニ資セントスル所以ナリ。

### 小學校體操器械器具ノ設備標準

#### 一 設備ノ方針

器械器具ハ、每教授時間必是ヲ利用シテ、體育上ノ効果ヲ收メシメザルベカラズ。其ノ設備ハ生理的衛生的ニシテ、且團體教授ニ適用セシムルヲ主眼トセザルベカラズ。又團體教授ニ適用セントセバ、同一種類ノ器械器具ヲ多數設備センコトヲ要ス。又安價・堅牢且保管上ノ利便等ヲ顧慮シ、左記諸件ヲ具備セシムルヲ要ス。

- 一 多數兒童ノ齊教授ニ適スベキコト。
- 二 兒童ノ身體ニ適當スベキコト。
- 三 構造簡易堅牢ニシテ且安價ナルベキコト。
- 四 設備ノ場所一可成開濶ニシテ且安全ナル所ナルベキコト。
- 五 可成移動シ得ベキ様設備スルコト。

#### 二 設備スヘキ器械器具ノ種類

器械ノ種類ハ實際ノ教授ニ使用スベク、決シテ標本的ニ多種多樣ナルヲ要セズ。故ニ其ノ種類ヲ必設備スベキモノト、成ルベク設備スベキモノトノ二種ニ區別セリ。而シテ懸垂運動ニ於ケル水平棒、跳躍運動ニ於ケル跳箱、平均運動其他軀幹諸運動ニ利用スベキ腰掛兼用平均臺ヲ以テ第一ニ設備スベキモノト爲シ、其ノ他ハ緩急ニ依リ順ヲ追ウテ設備シテ差支ナシ。

#### 甲 必設備スベキモノ

- 一 並行水平棒
- 二 跳箱(附屬砂場)
- 三 腰掛兼用平均臺
- 乙 成ルベク設備スベキモノ

- 一 鐵 棒
- 二 肋 木
- 三 攀登用具(吊棒竹棒吊繩)

大正  
7.5 16  
内交

- 四 跳 繩
- 五 吊 環
- 六 雲 梯
- 七 憲 梯

三 設備ノ個數竝ニ經費見積リ

設備ノ個數ハ、一學級ノ教授ニ用フルヲ以テ基準トシ、體操科教授ニ使用セザル運動器具ハ其ノ數ヲ限定セズ。

設備ノ個數ハ、一學級ノ兒童ガ、同時ニ懸リ得ル丈ケノ數ヲ設備スルヲ以テ理想トセ  
ルモ、此ノ如キハ現時財政ノ狀況等ニ依リ、直ニ設備シ難キモ、成ルベク多數生徒ヲ  
同時ニ運動セシムルヲ以テ目的トシ、其ノ最小限度ヲ標準トシタリ。則チ水平棒四間  
ハ同時ニ十六人ヲ運動セシメ、三回交替ニテ、一學級四十八人ノ全體ヲ一人一回宛運  
動セシムルガ如シ。跳箱ハ、運動ニ監督ヲ要スルコト多キト、其ノ運動時間早キトニ  
依リ、二臺乃至四臺ニテ、一學級ノ使用ニ適當ナリトシタルモノナリ。

見積價格ハ、正式製作ニシテ都市ニ於ケル標準價格ナリ。地方ニ依リ相違スベシ。

甲

- 一 並行水平棒 四間(壹間十二尺) 十二尺壹間ニ付 移動式約五拾圓  
固定式約六拾圓
- 二 跳 箱 二臺 壹臺ニ付約參拾圓乃至參拾五圓
- 三 腰掛兼用平均臺 四臺 壹臺ニ付約拾四圓乃至拾五圓

乙

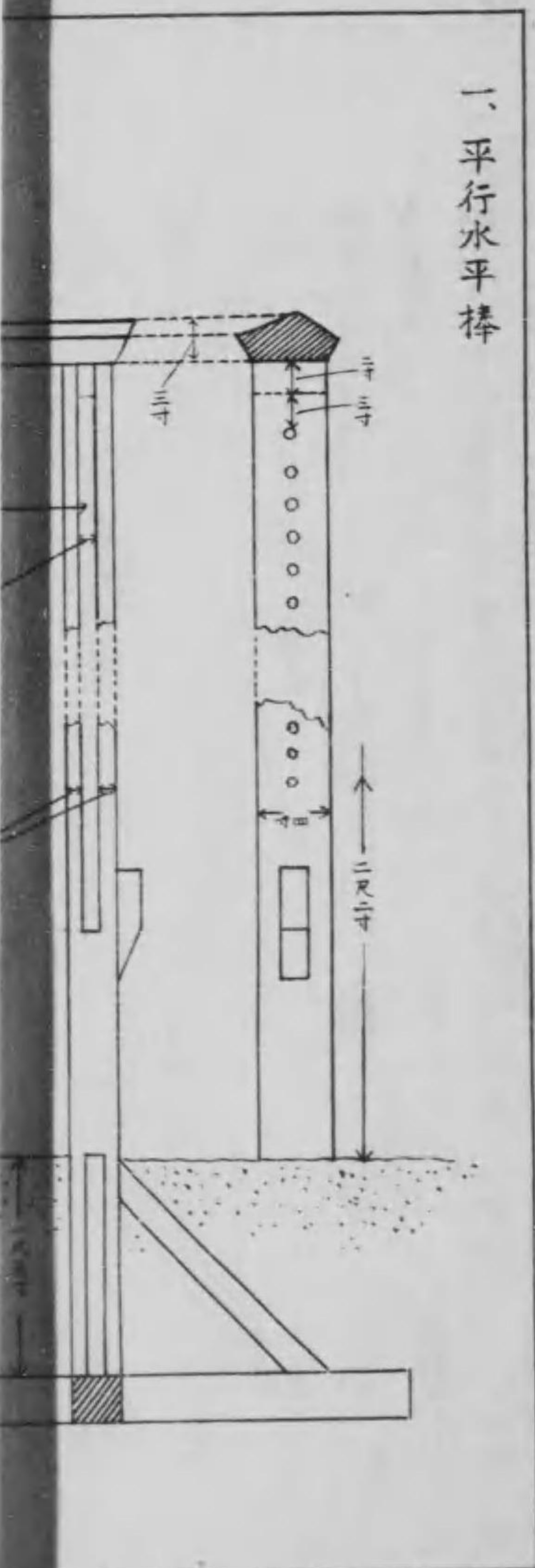
- 一 鐵 棒 六間
- 二 肋 木 十間(壹間三尺)(表裏使用二十人)
- 三 攀登用具 十本
- 四 跳 繩 二
- 五 吊 環
- 六 雲 梯
- 七 憲 梯

四 器械ノ寸法竝ニ樣式

器械ノ寸法ハ、其ノ器械ヲ使用スル兒童、假令ハ尋常小學校第五、六、學年兒童ノ平均  
身長(四尺八寸乃至五尺)ヲ標準トシタリ。鐵棒ノ大ハ、示範用トシテ教師ヲ標準トシ  
タリ

器械ノ樣式ハ、固定式ト移動式トノ二樣ヲ示シタルモノアリ。雨覆體操場用、又ハ土  
地濕潤ナル校地等ニ於テハ、保管上移動式ヲ便トスベク、其ノ他一般使用上ノ便宜ハ  
固定式ナルベシ、之等ハ土地ノ狀況ニ依リ適宜選定シテ製作スベシ。尙樣式ハ正式完  
全ナルモノヲ示シタリト雖モ、經費又ハ工作上ノ都合ニ依リ、使用ニ差支ナキ限り成  
ルベク簡易ニシテ便利ナルモノヲ選ビ作製スベシ。  
寸法樣式以下圖面ノ通り。

一、平行水平棒

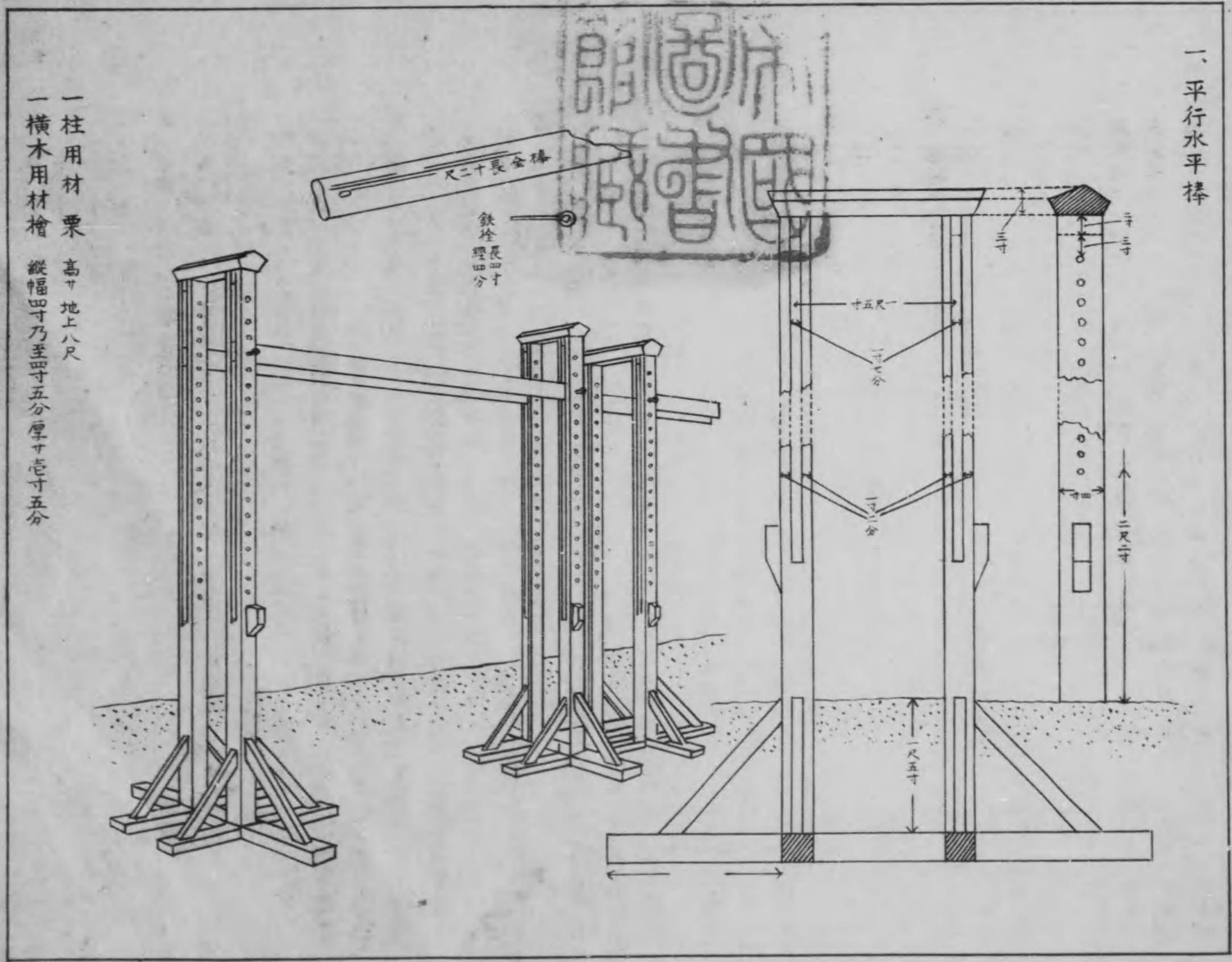


器械ノ寸法ハ、其ノ器械ヲ使用スル兒童、假令ハ尋常小學校第五、六、學年兒童ノ平均身長(四尺八寸乃至五尺)ヲ標準トシタリ。鐵棒ノ大ハ、示範用トシテ教師ヲ標準トシタリ。

器械ノ様式ハ、固定式ト移動式トノ二様ヲ示シタルモノアリ。雨覆體操場用、又ハ土地濕潤ナル校地等ニ於テハ、保管上移動式ヲ便トスベク、其ノ他一般使用上ノ便宜ハ固定式ナルベシ、之等ハ土地ノ狀況ニ依リ適宜選定シテ製作スベシ。尙様式ハ正式完全ナルモノヲ示シタリト雖モ、經費又ハ工作上ノ都合ニ依リ、使用ニ差支ナキ限り成ルベク簡易ニシテ便利ナルモノヲ選ビ作製スベシ。

寸法様式以下圖面ノ通り。

一、平行水平棒

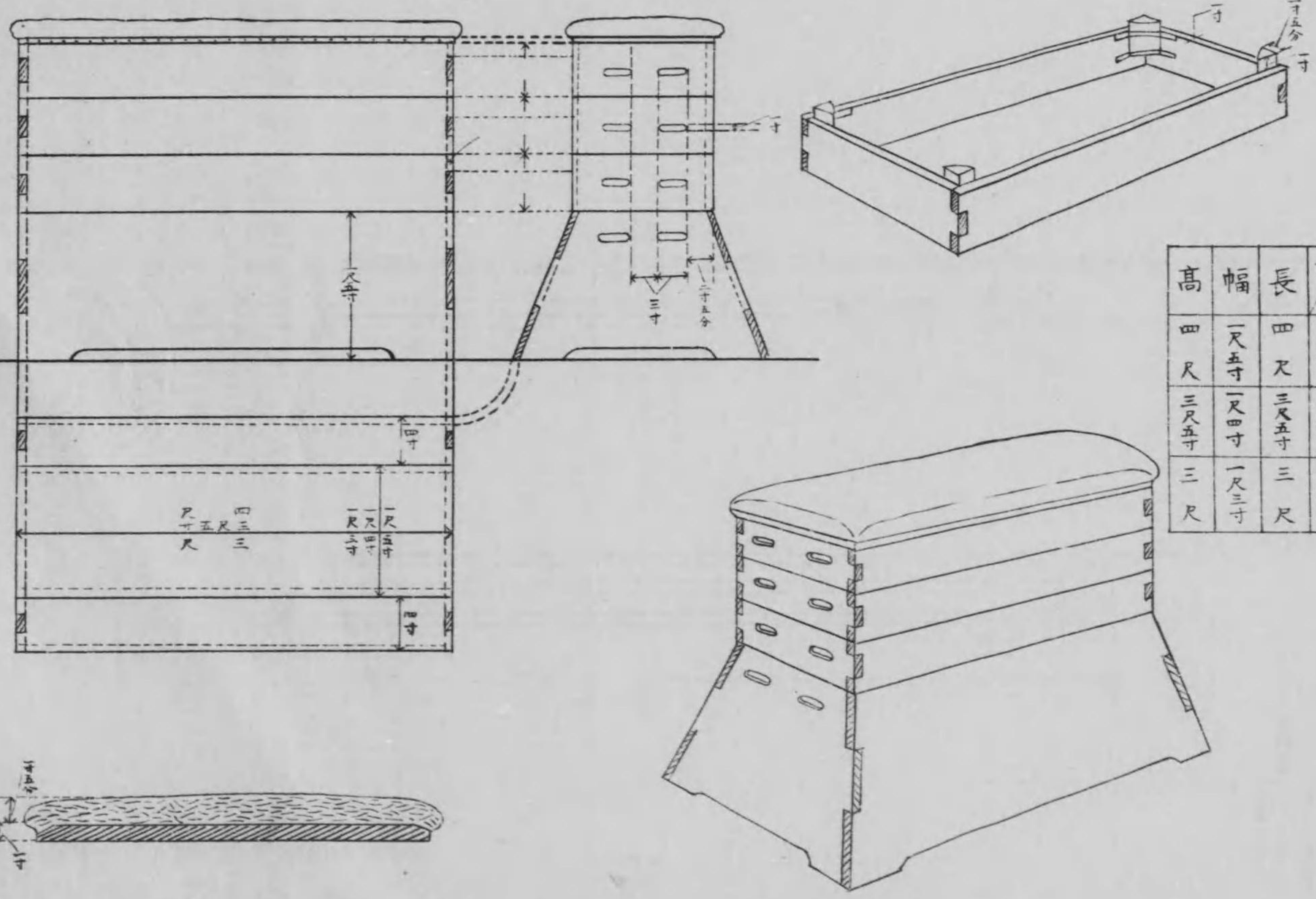


一柱用材 栗 高サ地上八尺  
 一横木用材 檜 縱幅四寸乃至四寸五分厚サ壹寸五分



二 跳箱

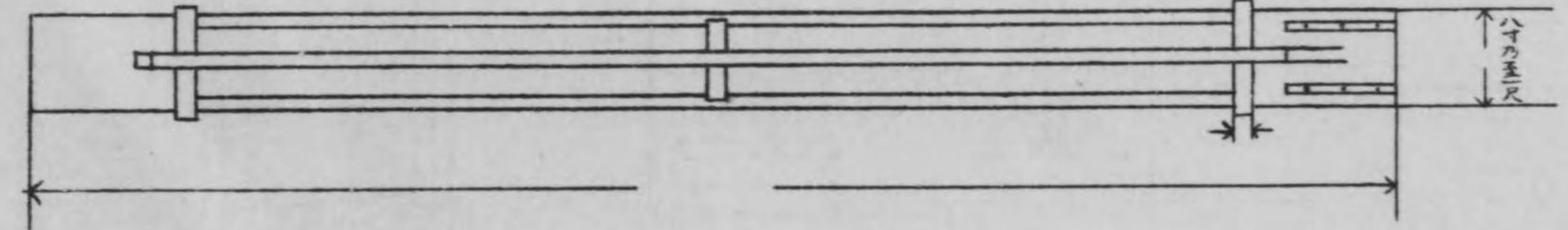
用材松  
跳箱ニ附属トシラハス蒲團又ハ敷砂ヲ要ス



高	幅	長	寸種
四尺	一尺三寸	四尺	大
三尺五寸	一尺四寸	三尺五寸	中
三尺	一尺三寸	三尺	小

三、腰掛兼用平均臺

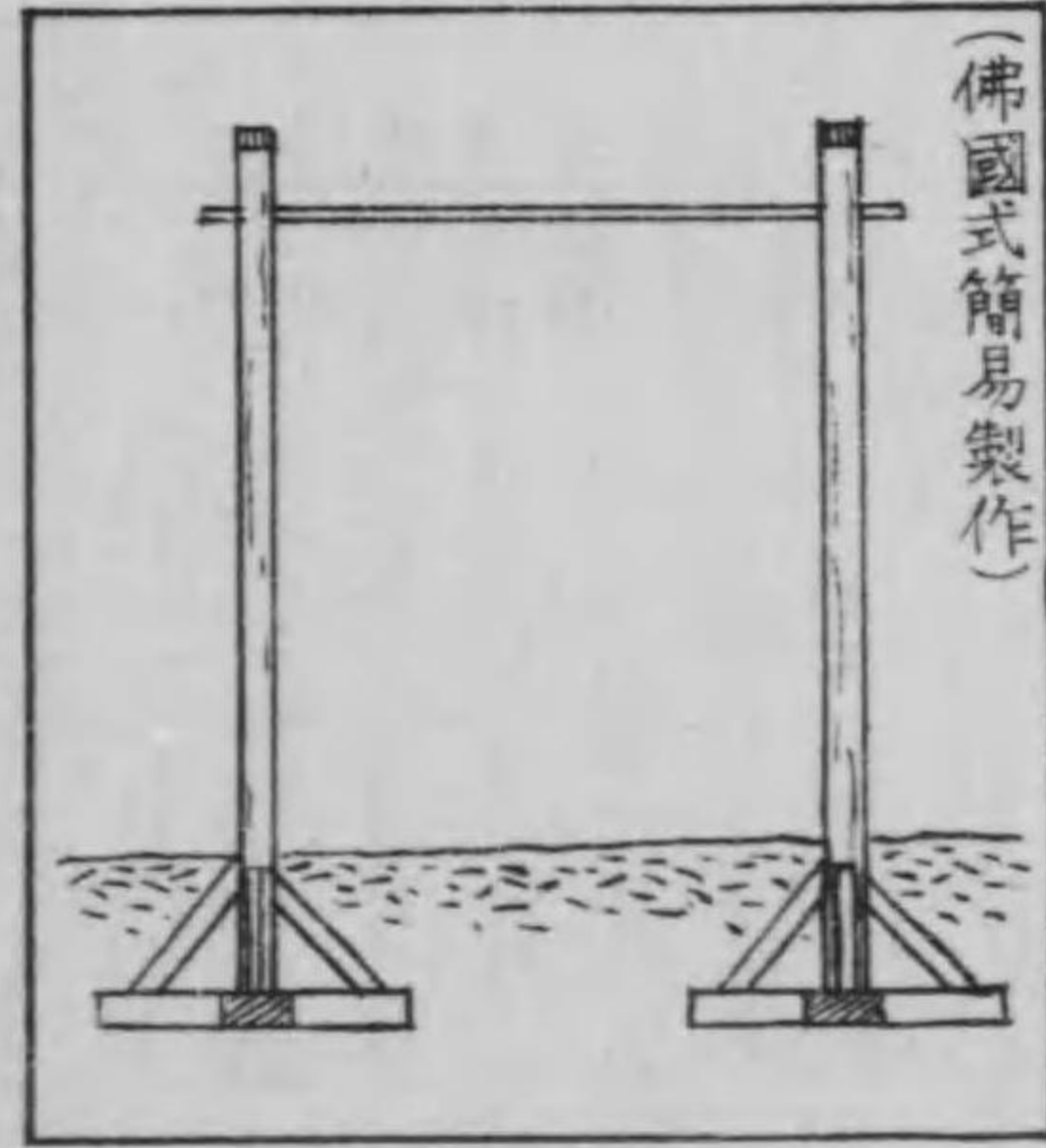
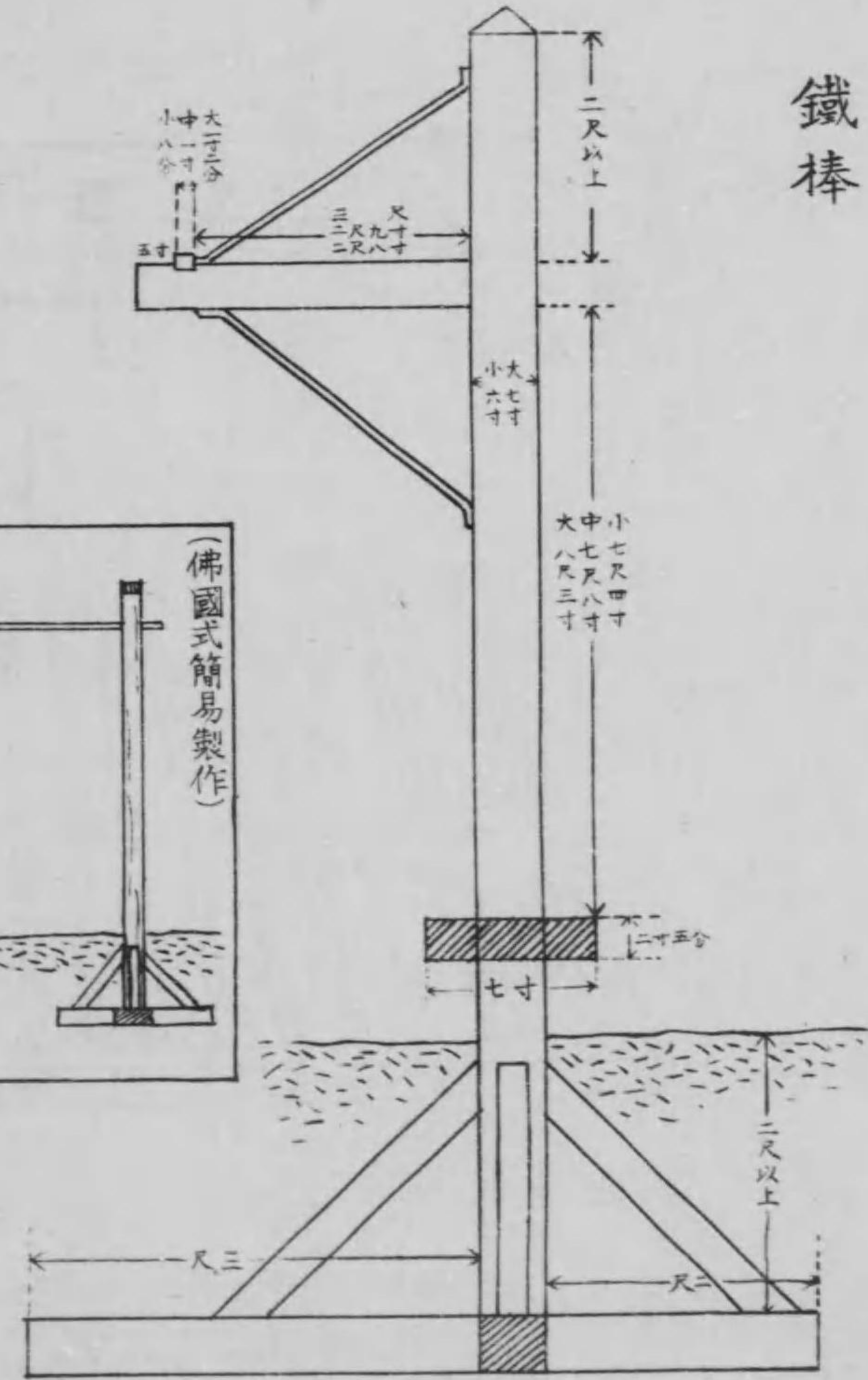
用材檜



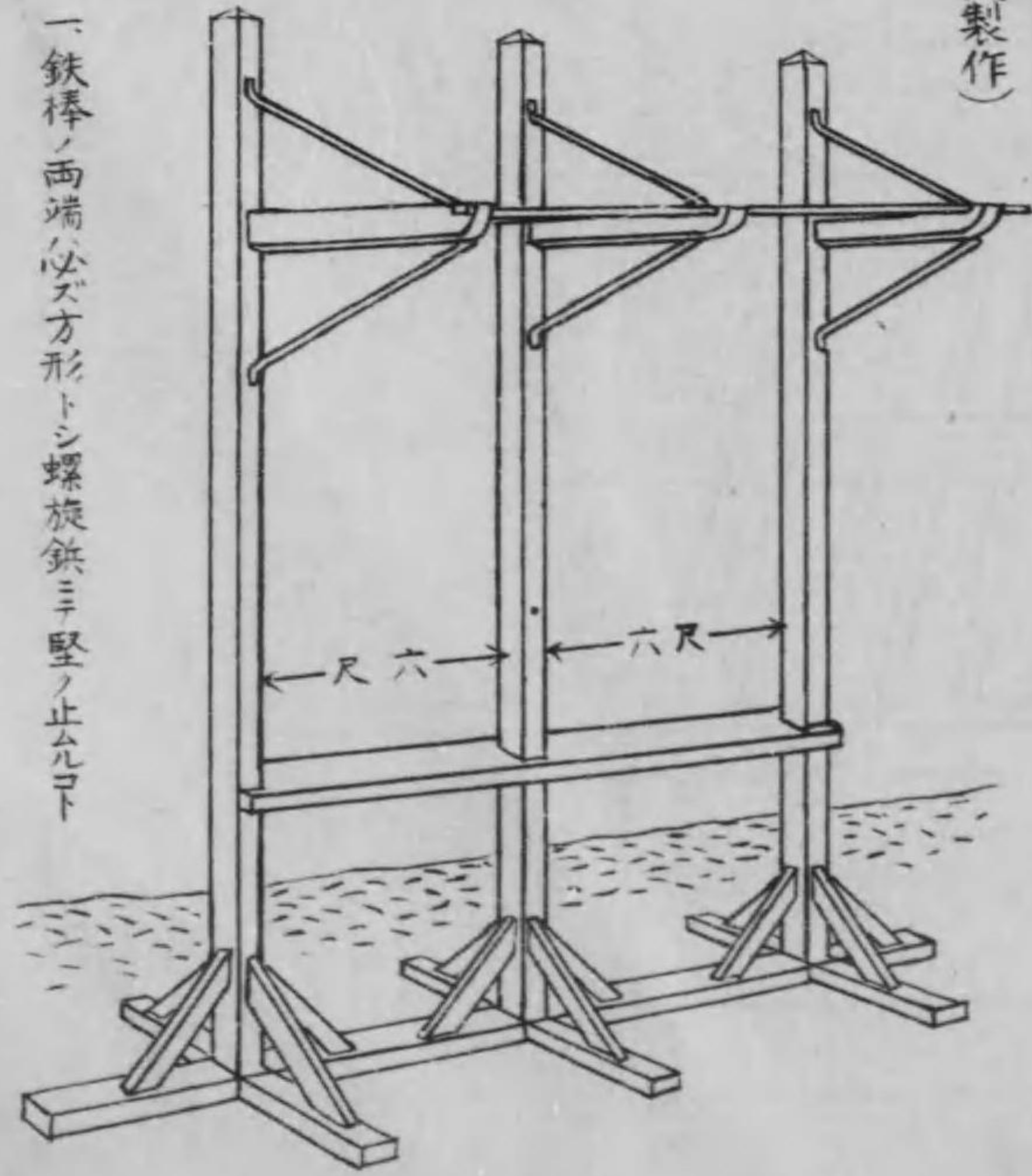
平均臺  
幅四寸乃至五寸  
厚三寸  
天面二寸



# 鐵棒



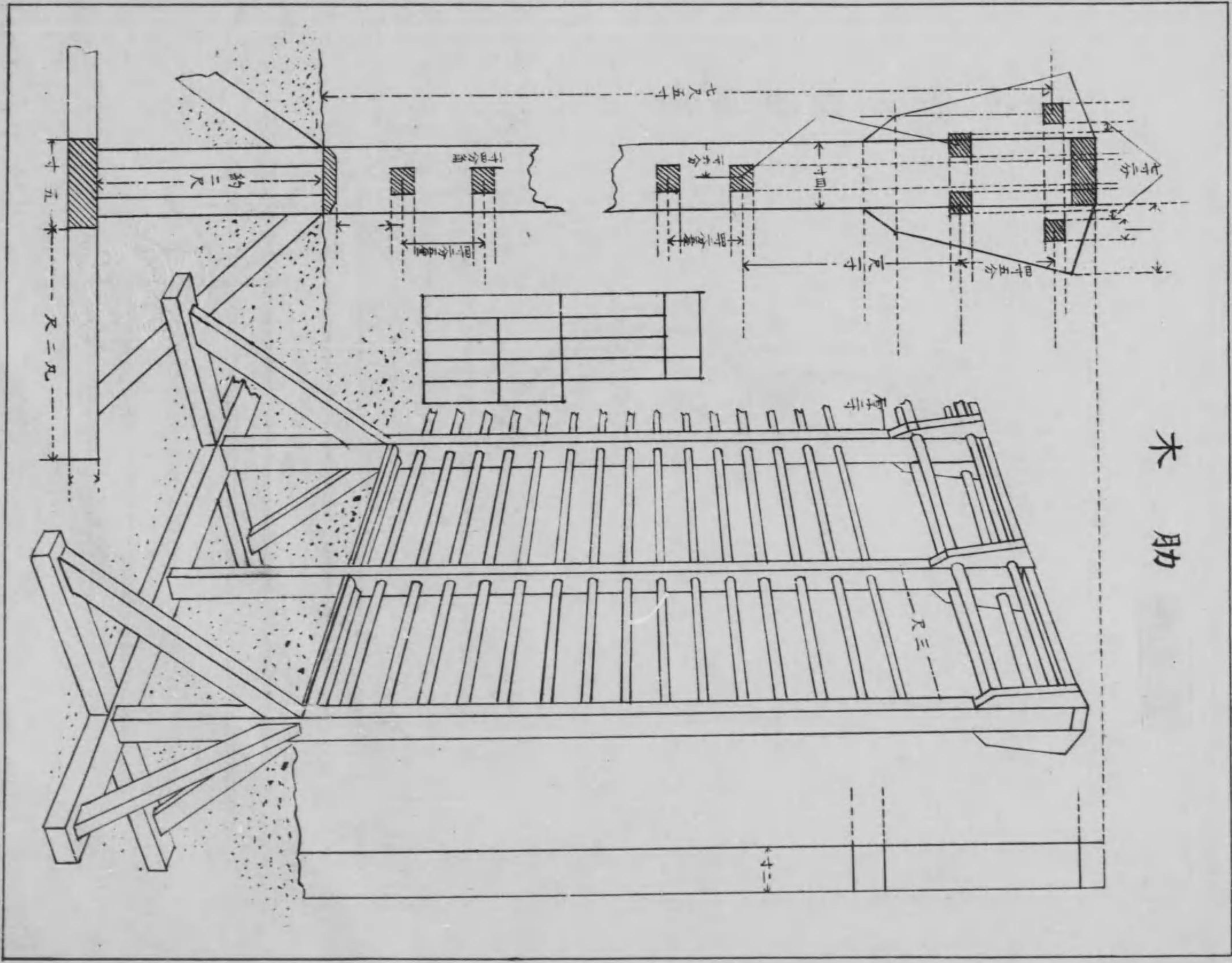
(獨逸式製作)



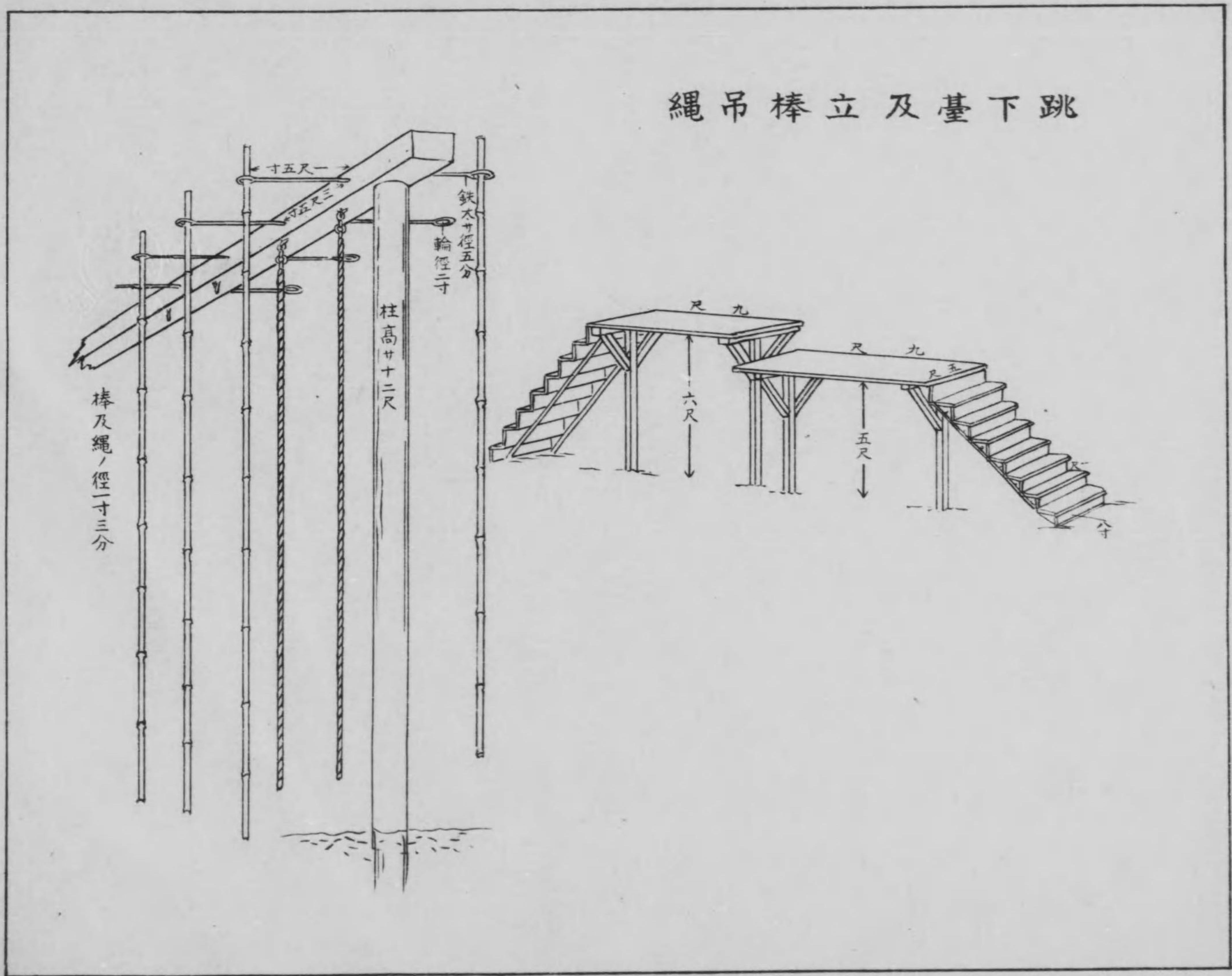
一、鐵棒ノ兩端ハ必ズ方形トシ螺旋鉄ヲ堅ク止ムルコト

器械部分		大	中	小
柱ノ高サ		八尺三寸	七尺八寸	七尺四寸
柱ト柱トノ間		六尺	六尺	六尺
柱ノ大サ		七寸角	六寸角	六寸角
鐵棒ノ直徑		一寸二分	一寸八分	一寸八分
鐵棒ノ高サ		六尺五寸	六尺	五尺五寸
柱ト鐵棒トノ距離		三尺	二尺九寸	二尺八寸
踏切板ノ幅		七寸	七寸	七寸
同	厚	二寸五分	二寸五分	二寸五分
鐵棒ノ先端ノ餘裕		五寸	五寸	五寸
鐵棒ノ兩端ハ方形トシ螺旋鉄ヲ堅ク止ムルコト				
大寸ハ示範用トシテ教師ノ身長ヲ標準トセヨ				

木 肋

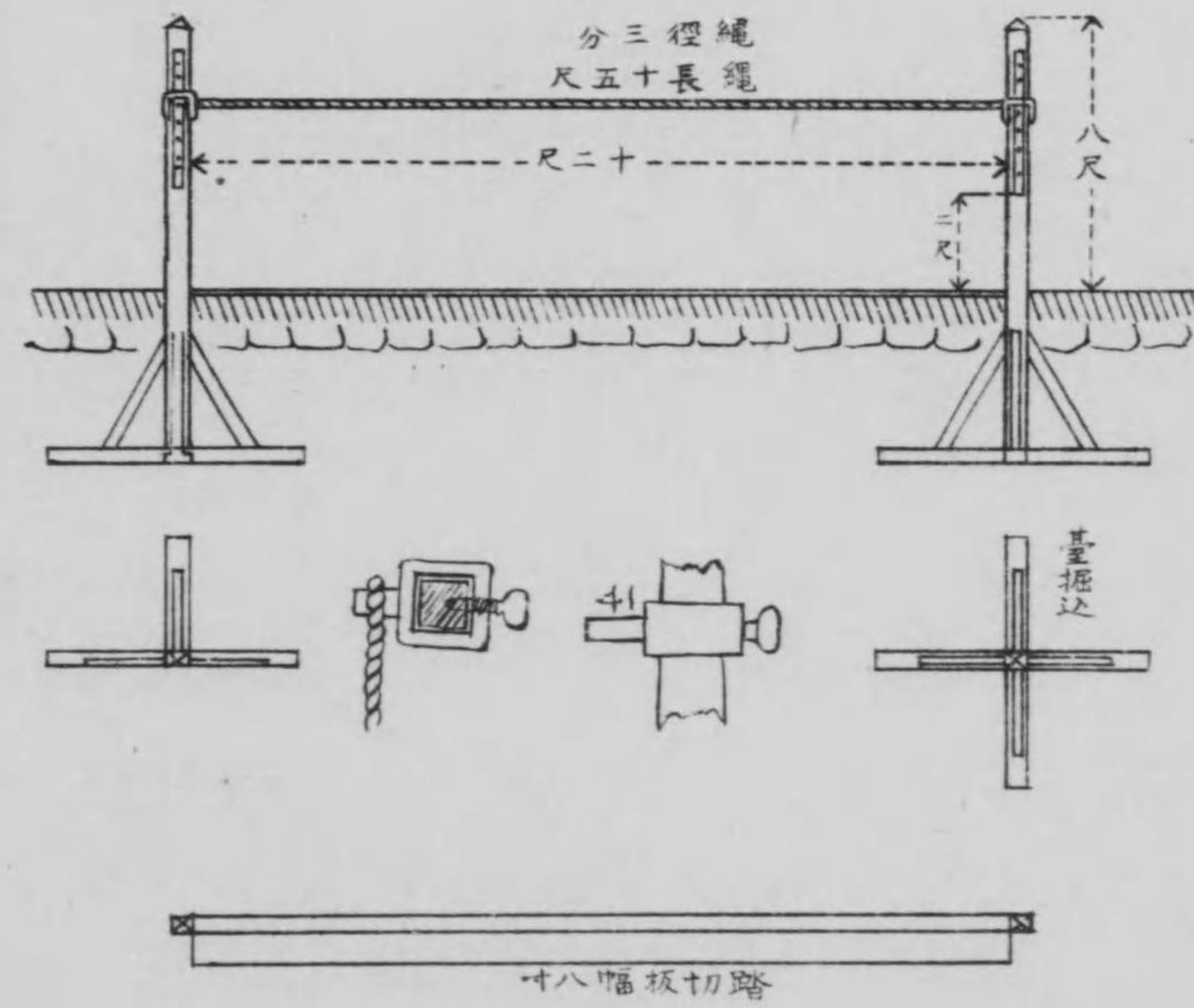
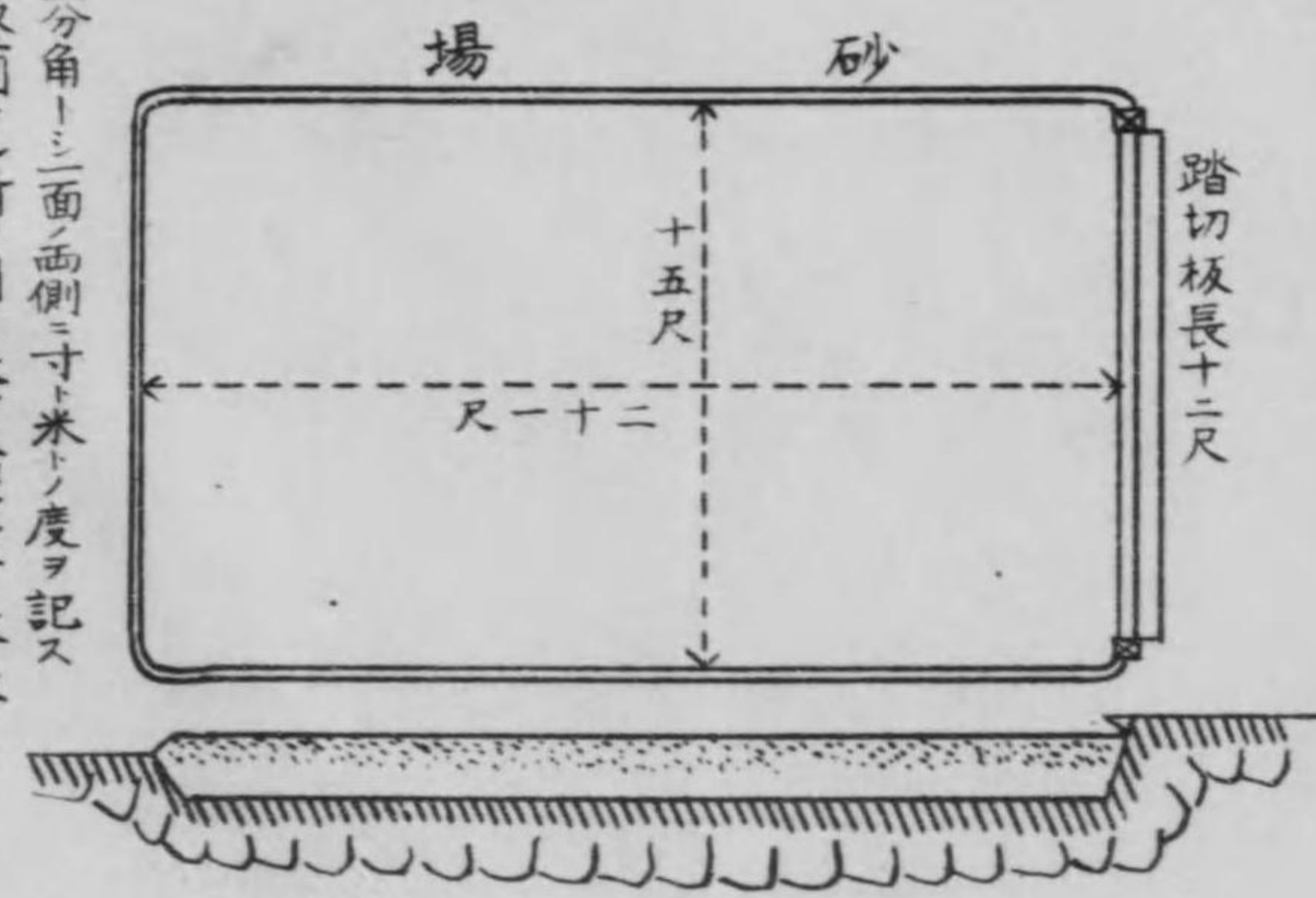


繩吊棒立及臺下跳

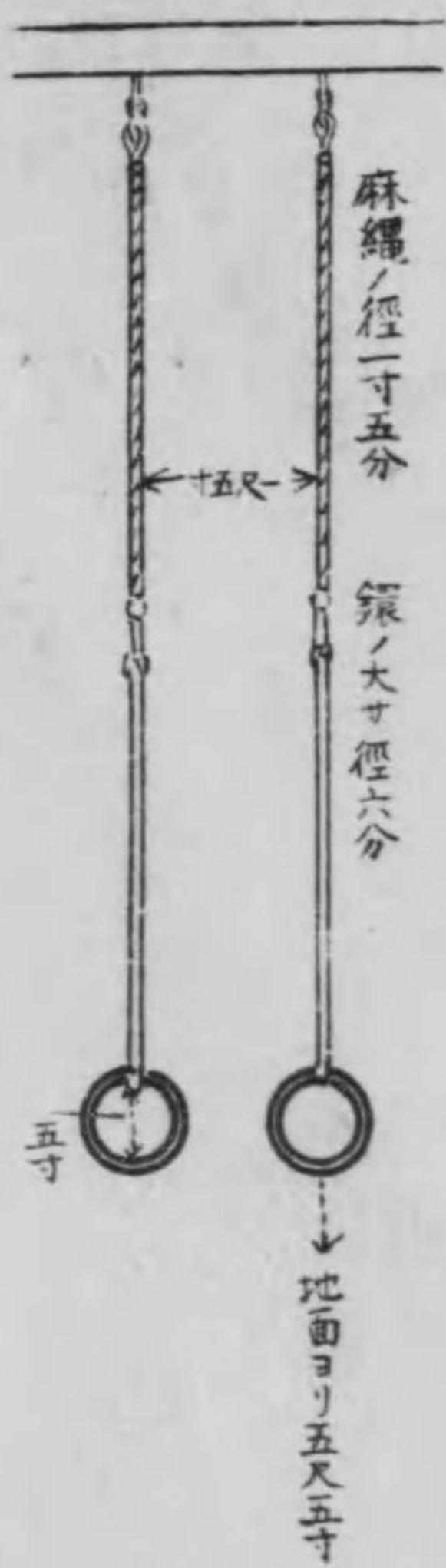


跳繩

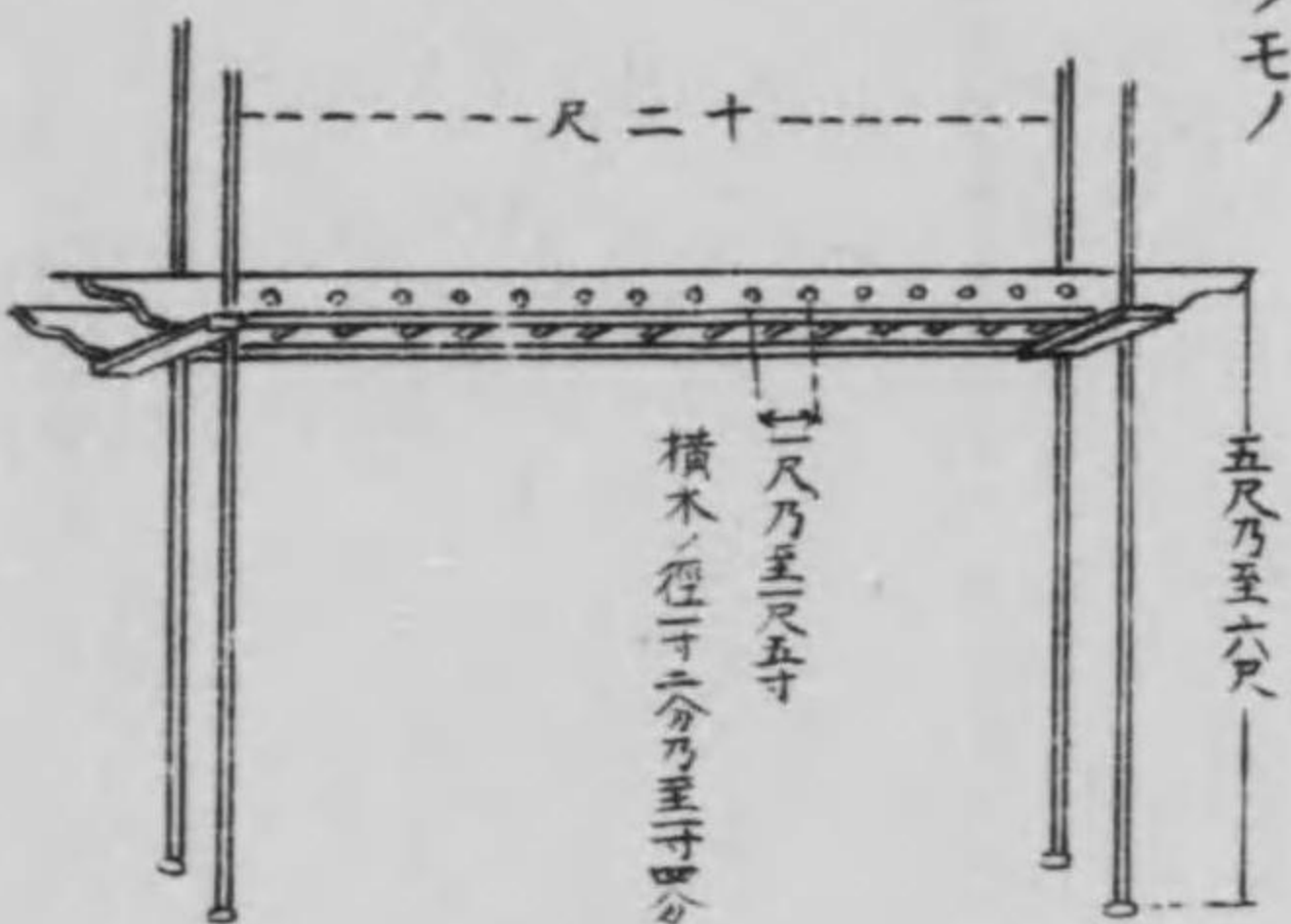
- 一、柱ノ太サニ寸乃至寸五分角トシテ面ノ西側ニ寸ト米トノ度ヲ記ス
- 二、棒高跳ニ用ルル棒ハ堅固ナル竹ヲ用ヒ長十尺徑一寸三分位トス



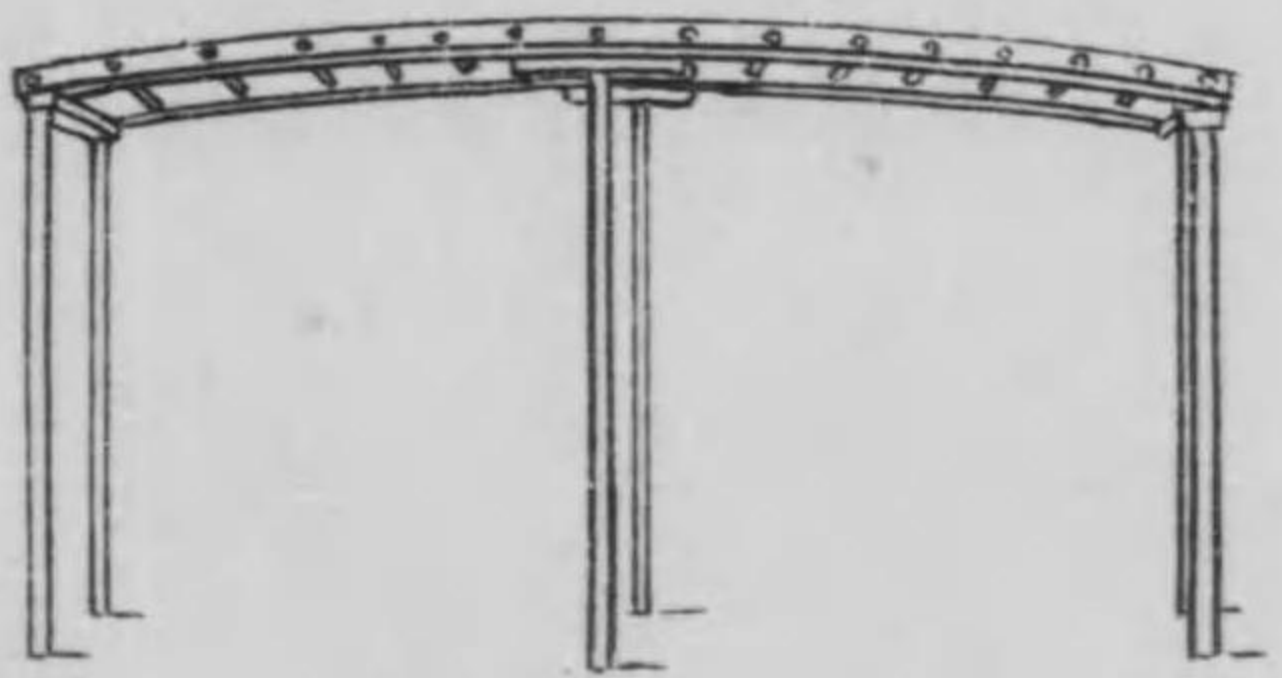
吊環



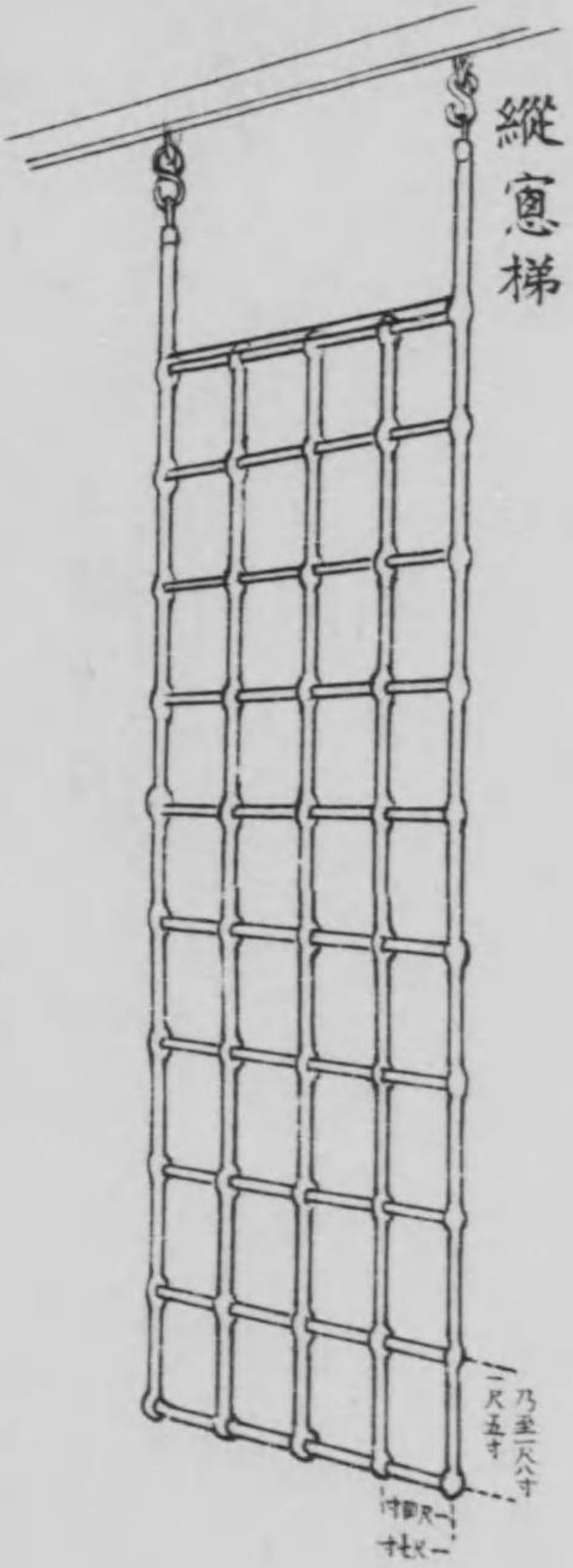
雲梯  
水平ノモノ



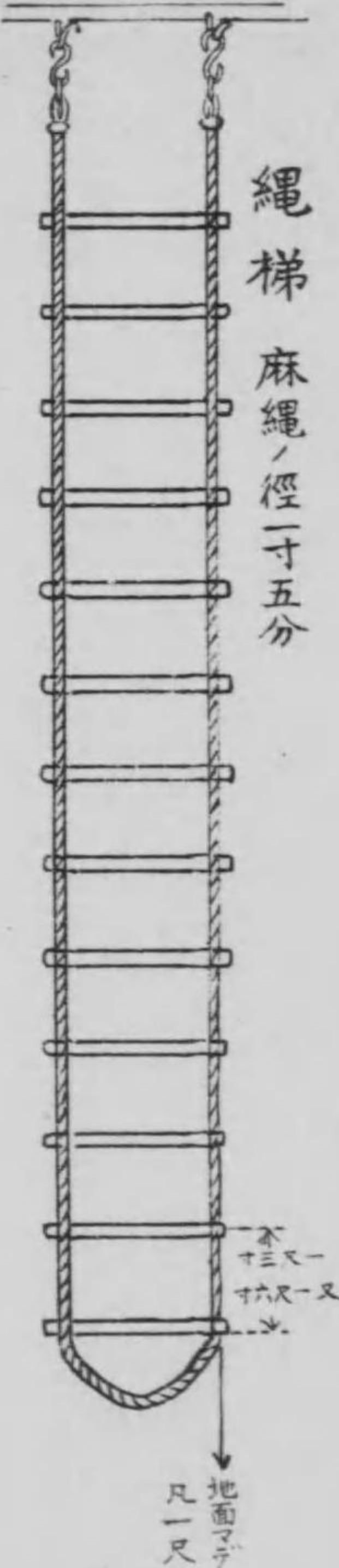
同  
弧形ノモノ



縦窓梯



繩梯  
麻繩ノ徑一寸五分



大正七年五月十日印刷

大正七年五月十五日發行

著者兼  
發行者

廣島市水主町三十二番地廣島縣廳內

廣島縣教育會

廣島市水主町六十七番邸

印刷者 藤浦知

廣島市水主町二十七番邸

印刷所 藤浦活版所

終